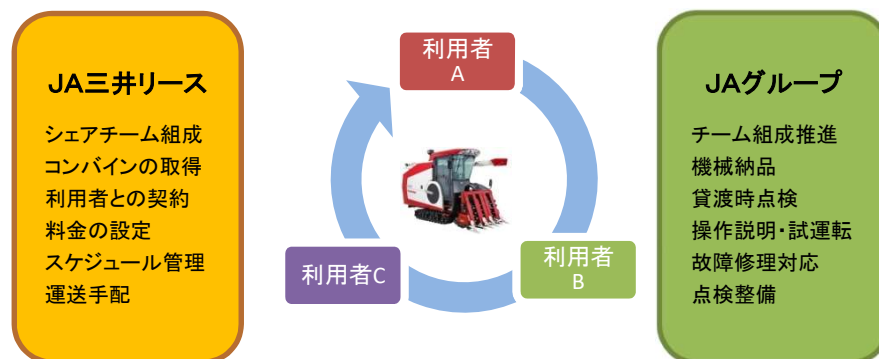


6 農機シェアリース (大型コンバイン)

○大型コンバインのシェアリングにより高額な機械の共同利用を促進し、生産者の年間の機械利用経費の低減に寄与します。

<農機シェアリースの概要>

年間の稼働時間が少なく、高額な大型コンバインを、作業時期の異なる3軒の生産者で共同利用していただきます。(稲刈り利用のみ)



※契約期間は2年間、年間20日間(100hr)の利用が条件です。
※利用日は8月、9月、10月のそれぞれ10日から、利用料金は一律です。
※契約は、JA三井リースと利用者間で締結します。

<利用者のメリット・デメリット>

メリット	1. 農機コストの低減ができます。 2. 格納整備費用や農閑期の車庫が不要です。 3. 規模拡大途上の0.5台需要を満たし、効率的な機械利用ができます。 4. 新品～2年目のコンバインを使用するので、古い機械に比べてトラブルの不安が減少します。
デメリット	1. チームが組成できない場合、お断りすることがあります。 2. 共同利用のため、利用要件やルールが厳格です。 3. 天候不良の場合でも、利用日の変更はできません。 4. 代車はありません。

<利用者の要件> ※①～③を全て満たし、④に同意出来る生産者を対象とします。

- ①. コンバインを1台以上所有していること。
- ②. セルフメンテナンス(注油、刈刃・消耗部品交換、返還時清掃)スキルを有していること。
- ③. 利用終了後返還する際、マニュアルに従ってコンバインの清掃実施後期日までに農機センターへコンバインを搬送できること。
- ④. 「1チーム3軒」を満たさない場合は、チームを組成しない。

<シェアリース利用料金>

一律2,350,000円(税抜) ※利用開始月による価格差はありません。

<シェアリース利用による農機コスト低減例>

対象機種: ヤンマー 6条刈自脱型コンバイン
YH6101QJU(分草パイプ付)
メーカー小売価格: 13,110千円(税抜き)

【年間経費の比較】

単位: 千円 (税抜)

購入		農機シェアリース	
項目	金額	項目	金額
減価償却費(年間)	1,498	年間利用料	2,350
税金・保険料・車庫費等	524		
格納点検・修理整備料	566		
計	2,588	計	2,350

シェアリース機を利用した場合、購入と比べて
年間約24万円のコスト低減(▲9.2%)が可能です。

※修理費・車庫費・租税公課、保険料ほかの金額は、本会の試算値です。
※シェアリースの利用料金には、**減価償却費**の費用が含まれています。
(燃料、注油オイルなどの消耗品代、セルフメンテナンス費用は除く)
※利用者の責による故障の修理費用は、利用者の負担となります。
※購入時の年間減価償却費は、7年均等割で試算しています。